

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	佐礼谷保育所運営事業			
予算科目	3 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 少子化対策の充実			
所管課情報	担当課:	子育て支援課	電話番号(内線):	556
記入者情報	所属長:	西川 重子	担当責任者:	大野 舞
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内に居住し、保育に欠ける0～5歳児のいる世帯で、仕事の関係等で佐礼谷保育所に入所を希望する人			
根拠法令等	児童福祉法			
事業の目的	保護者の労働又は疾病等により、監護を必要とする乳児、幼児及び児童が保育に欠ける場合において、保護者からの申込みに基づき、当該児童等を佐礼谷保育所に入所させ、保育を行う。			
事業の内容	保護者の仕事の都合などにより、保育に欠ける乳児、幼児及び児童を佐礼谷保育所で保育する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	入所児童の生活状況を見ながら、今後、休園なども検討していく。			
改善策の 具体的 取り組み	入所児童の減少により、集団生活が成り立ちにくいことから、中山保育所との交流保育を実施しながら、休園なども検討し地域の理解を得る。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,648	6,342	1,903	4,197
	人件費	10,982	1,511	1,511	1,511
	合計	0	7,853	3,414	5,708
人件費 内訳	人工数	1.35	0.19	0.19	0.19
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	10,982	1,511	1,511	1,511
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	1,089	0	0	0
	一般財源	14,541	7,853	3,414	5,708

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
入所児童数(月単位の延べ人数)	人	61	36	15	33
保育士・調理員数(臨時・パート)	人	5	4	3	2
保育料(現年度調定額)	千円	1095	644	402	912
保育料(現年度滞納額)	千円	6	0	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		7,600	7,600	7,600	7,600	

成果指標				
成果指標	保育所入所者数(延べ人数)			
指標設定の考え方	目標は定員×12月とし、入所者数に対して施設の余剰があるかどうかを判断するため、保育所入所者数(延べ人数)を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	360	360	360	360
実績	61	33	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	360人の入所定員に対して、入所実績は33人で達成率9.2%であり、施設には余裕がある。入所児童の減少により、園児の集団生活等が成り立ちにくい状況となり、中山保育所と交流保育を行った。また、園児1人当たりの必要経費が他の保育所に比べ多額になった。保護者や地元と協議を重ねた結果、平成27年度は休園することになった。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	2	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	入所児童が大変少ないため、集団生活を保障することができない。そのため、中山保育所との交流を行ってきた。佐礼谷保育所の運営については、地元と協議を行ってきたが平成27年度は休園と決定した。今後の運営については、入所児童を把握した地点で、地元と市で協議に入り、保育所の運営方針を検討することとなっている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	次年度は休園することが決定しているが、今後の入所希望の状況を見て、廃園も検討する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。